バンビーノ=子ども (イタリア語)

Bambino

令和6年 10月1日 泉南市立一丘小学校 校長 木村 由香

イオンモールでインタビュー(3・6年生)



9月19日に、3年生と6年生がイオンモールりんくう蒙驁に、インタビューをしに行きました。3年生はスーパーマーケットの覚学を革箭中にして、至後から6年生と一緒に SDGs の取り組みや専門店の仕事に関するインタビューを行いました。

あちこちにある SDGs の取り組みを操したり、色々な専門店の工夫を聞いたりすることで、いつも行き慣れているイオンモールを見る首が変わったのではないかと思います。

社会見学は実際に行くとなったら、企画・立葉から訪問先との打ち合わせ、引奉にいたるまで大変手間と時間がかかります。しかし、実際に行って確かめたり探したりすることで、字どもたちの深い学びに繋がるので、これからも大切にしていきたいと思います。



















ブックフェスタ 9/24

9月24日に 2回首の『ブックフェスタ』を行いました。 新回 I 学崩に行った時は、先生たちのブックトークや読み聞かせ、図書委員会のクイズなどを行いましたが、今回は児童9名によるビブリオバトルを行いました。どの発表も完成度が高く、首分が読んだ動機や、どんなところがその私の魅力なのか、また内容をクイズにするなど、どの茶も読んでみたくなるような工夫がいっぱいでした。

ビブリオバトルの後で、全校児童が一審読みたくなった器についてタブレットで投票を行いました。 今回の結棄の上位省名が、10月3日に行われる『一位中学校ビブリオバトル』に参加し、中学校区で戦 います。本校からは6年生2名、5年生1名、3年生1名が参加します。ぜひ頑張ってきてほしいです。

























10月の行事予定

10/1(火)	運動会練習開始 児童集会	10/16(水)	読書タイム
10/2 (水)	スポーツ交流会6年(新家小)	10/18(金)	運動会準備 1~3 年 13:15 下校
	読書タイム		4~6年 15:00 頃下校
10/3(木)	ビブリオバトル一丘中 5 年	10/19(土)	運動会(午前中 弁当なし)
	体育集会		1~5 年 12:00 下校
10/4(金)	自分学習 モアレ検査5年		5・6年 12:30 ごろ下校
	放課後学習	10/20(日)	運動会予備日
10/7(月)	花いっぱいプロジェクト	10/21(月)	代休
	朝ナビマ	10/23(水)	運動会再予備日 読書タイム
10/8 (火)	関空インタビュー6年	10/24(木)	就学時健診
	花いっぱいプロジェクト予備日	10/25(金)	自分学習
10/9 (水)	体育集会 オープンタイム	10/28(月)	(10/19 (土) 10/20 (日) の両
10/11(金)	中学校体験入学6年 自分学習		日登校した場合は代休)
	制服バザー	10/29(火)	不審者対応訓練
10/14(月)	スポーツの日(祝日)	10/30(水)	読書タイム
10/15(火)	体育集会	10/31(木)	1~5年秋の遠足



11月の主な予定

11/2 土曜参観 11/3 文化の日 11/4 振替休日 11/5 代休

11/9 一丘マルシェ (一丘中) 11/14 心の劇場 (6年) 11/18 校内研究授業 (5-1)

11/19 小中体育公開授業 11/21~22 修学旅行(6年) 11/20 泉南市音楽会(5年)

11/21 給食試食会 11/21~11/22 修学旅行(6年)

11/28 イオンモールで SDGs 発表 (5年)

子どもは扱われたようにふるまう

一笠中学校区の一中兰小では、東南市の学校再編計画によるや和中兰学の統合に高けて、『チーム一丘』という組織を立ち上げ、総務・学力向上・生活指導・人権教育・支援教育・健康体力・事務の七つの部会が様々な話し合いを行っています。

その中のでつ、生活指導部では、三小学校の学校の決まりを一覧中学校の決まりを見据えながら、統一していく方向で動いています。

なかでも顕髪の決まりは、一笠中学校 (覧筒市内の中学校) では岩染めやパーマは説められていません。 本校ではこれまで、『岩染めやパーマは、(薬に含まれる環境ホルモンの影響等を配慮し) 自分 (子ども) の健康を第一に考えましょう。』としています。

世の節の動きや時代を考えると、色々と論議のあるところですが、実際に高校入試ではまだまだ自然な髪色にするという境状があります。これは、高校入試や入社試験では、ごく短い時間の面接で、その人を判断し、合否が分かれるからです。

常日頃から字どものことをよく理解している家族や友達、学校の先生は、その字どもの良い箇 をよく知っています。問題は、その字のことをよく知らない人です。 印象がマイナスから始まる 人もいるため、信頼関係をつくるのに時間がかかる場合や、最初の印象が強すぎて、その後も常利 なレッテルを貼られることもあります。

外国では荷の問題もないことですが、日本では色々な価値観が混在するため、時代が変わりつつある現在でも、見た首で損をしたり、レッテルを貼られて傷ついたりする場合が残念ながらまだまだ残っているのが現状です。

一番心配なことは、児童・生徒の中にはレッテルを張られたことで、そのレッテルに自分を含わせて行動してしまう場合が少なくないということです。思春期に遊づくにつれて、自分で作った外見のイメージに縛られ、環境が変わらないかぎりなかなかりセットできない場合もあります。

小学生の場合、主義めやパーマはほとんどが保護者や簡りの先人の協力や判断がないとできません。「ただオシャレをしたいだけ」という気持ちを理解してもらえない場合がまだまだあることも含め、字どもが自労自身を覚失わない強さを持っているのかをしっかりと覚極めて判断する必要があるのかもしれません。